

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	保育士宿舎借り上げ支援事業				シート番号	014-110	
担当部署名	子ども青少年	局	子育て支援	部	幼保推進	課 評価責任者(課長名)	長尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	無
	2	事業開始年度	平成 29 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市保育士宿舎借り上げ支援事業補助金交付要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	待機児童解消や、子どもを安心して育てることができる環境整備のため、教育・保育に必要な保育士・保育教諭の確保が喫緊の課題となっている中、本事業を実施することとなった。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 (民間認定こども園・保育所)			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	民間の認定こども園、保育所、小規模保育事業者、事業所内保育事業者、認証保育所			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	保育士・保育教諭の宿舎を借り上げるための費用を支援することによって、保育人材の新規確保及び就職継続を図り、保育士等が働きやすい環境を整備することを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	民間の補助対象事業者に対し、事業者が保育士・保育教諭用の宿舎を借り上げる費用を補助する。(補助対象となる保育士・保育教諭に要件有。補助上限額有。)			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		民間の認定こども園、保育所、小規模保育事業者、事業所内保育事業者、認証保育所				

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	28,044	7,578	44,280	23,488	44,280	42,431	79,704
	主な事業費内訳	千円	28,044	7,578	44,280	23,488	44,280	42,431	79,704
		千円	-	-	-	-	-	-	-
		千円	-	-	-	-	-	-	-
		千円	-	-	-	-	-	-	-
		千円	-	-	-	-	-	-	-
		千円	-	-	-	-	-	-	-
財源内訳	国・府支出金	千円	18,696	4,581	29,520	16,153	29,520	27,827	48,924
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	-	-	-	-	-	-	-
	市債	千円	-	-	-	-	-	-	-
	その他()	千円	-	-	-	-	-	-	-
	一般財源	千円	9,348	2,997	14,760	7,335	14,760	14,604	30,780
12	人件費 (b)	千円	2,630	4,100	4,100	4,100	4,050	4,050	4,100
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	30,674	11,678	48,380	27,588	48,330	46,481	83,804

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	保育士宿舎借上げ支援事業	シート番号	014-110
-------	--------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績									
活動実績と成果	14	保育人材の確保・定着が難しくなっている中、前年度と比較して補助対象者が大幅に増加しており、新たな保育士の確保及び就職継続、職場への通いやすさ等保育士・保育教諭の職場環境の整備にも貢献できたと考えている。							
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		15	補助対象となる保育士・保育教諭数	人	目標値	38	80	80	100
				実績値	21	53	86		
				達成率	55%	66%	108%		
	評価			悪い	少し悪い	良い			
	算出方法・設定根拠など		各年度の補助対象となる保育士・保育教諭数						
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
		目標値	-	-	-	-			
		実績値	-	-	-	-			
達成率		-	-	-	-				
評価		-	-	-	-				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	補助対象となる保育士・保育教諭数	人	21	53	86	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	11,678	27,588	46,481	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	556,095	520,528	540,477	
	備考(算出についての説明等)						
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①				-	-	-
	②	上記①にかかる年間経費	千円		-	-	-
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位				
備考(算出についての説明等)							

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		保育士の新規確保・就職継続のために平成29年度より事業を開始した。目標としていた対象保育士・保育教諭数を上回っており、補助対象者は確実に増加している。今後も事業を各対象施設に周知し、保育士の新規確保・就職継続の促進を図る。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	保育士宿舎借り上げ支援事業	シート番号	014-110
-------	---------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 本事業は喫緊の課題となっている保育士確保や就業継続に資するものであり、事業を廃止することで保育士確保数の減少や、離職を誘発する恐れがある。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 廃止した場合の影響と同じく、保育士確保や就業継続に影響を及ぼす恐れがある。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 本事業は近隣の政令市でも実施されており、事業の縮減を行うことで他市の補助内容と比較され、市外から呼び込む保育士が他市に流れてしまう。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 本事業は事業者が保育士の宿舎として借り上げた物件に対する家賃等費用の一部を補助するものであり、園内での3密回避や活動変容にまで影響を及ぼすものではない。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 本事業は民間実施である。また、手法が限定されているため、左記の視点による改善が難しい。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	所見 近隣市でも同様の事業を実施していることから、廃止や縮減は保育士の離職及び他市への流出に繋がるため、保育士の確保、定着が課題となっている今、市外からの保育士呼び込みや就業継続に資する本事業は今後も継続的に実施する必要がある。